

令和元年度(2019年度)第1回千歳市地域協議会次第

日 時:令和元年8月31日(土)10時～

場 所:祝梅コミュニティセンター

1 開 会

2 あいさつ

北海道総合政策部長兼交通企画監 黒田 敏之
千歳市副市長 横田 隆一

3 議 題

- (1) 住宅防音対策の進捗状況等について
- (2) 地域振興対策の進捗状況等について
- (3) 新千歳空港周辺地域振興基金について
- (4) 平成30年度航空機騒音測定結果等について
- (5) 新千歳空港における最近の動向について
- (6) その他

4 閉 会

<配付資料>

- | | |
|-------|-------------------------|
| 資料1 | 住宅防音対策の進捗状況等について |
| 資料2 | 地域振興対策の進捗状況等について |
| 資料3 | 新千歳空港周辺地域振興基金について |
| 資料4-1 | 平成30年度航空機騒音測定結果について |
| 資料4-2 | 遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について |
| 資料5-1 | 新千歳空港における最近の動向について |
| 資料5-2 | 道内空港運営の民間委託について |
| 資料5-3 | 東側滑走路の夜間使用について |
| 資料5-4 | 新千歳空港関係自治体協議会平成30年度事業報告 |

住宅防音対策の進捗状況等について

1 平成 30 年度（2018 年度）の実績について

区分	意向調査 回答数	工事实績				R1 計画 数	計	実施率	
		～H29	H30	うち繰 越分	うち冬 期施工				
千歳市	一般住宅	1,756	183	107	21	16	125	415	23.6%
	世帯数	1,756	226	107	21	16	125	458	26.1%
	集合住宅	125	3	8	0	0	10	21	16.8%
	世帯数	714	12	62	0	0	59	133	18.6%
	計	1,881	186	115	21	16	135	436	23.2%
	世帯数	2,470	238	169	21	16	184	591	23.9%
苫小牧市	一般住宅	281	52	23	0	9	16	91	32.4%
	世帯数	281	52	23	0	9	16	91	32.4%
	集合住宅	8	1	1	0	0	0	2	25.0%
	世帯数	81	22	10	0	0	0	32	39.5%
	計	289	53	24	0	9	16	93	32.2%
	世帯数	362	74	33	0	9	16	123	34.0%
合計	一般住宅	2,037	235	130	21	25	141	506	24.8%
	世帯数	2,037	278	130	21	25	141	549	27.0%
	集合住宅	133	4	9	0	0	10	23	17.3%
	世帯数	795	34	72	0	0	59	165	20.8%
	計	2,170	239	139	21	25	151	529	24.4%
	世帯数	2,832	312	202	21	25	200	714	25.2%

2 令和元年度（2019 年度）の実施計画について

区分	R1 予算分	H30 繰越分	計	予備分
一般住宅	110	15	125	17
世帯数	110	15	125	17
集合住宅	10	0	10	1
世帯数	59	0	59	8
計	120	15	135	18
世帯数	169	15	184	25

※予備分は、工事の辞退者があった場合の候補。

3 令和元年度（2019年度）の現地調査について

区分	第1次 (4/22～ 26)	第2次 (5/20～ 24)	第3次 (6/17～ 21)	第4次 (7/22～ 26)	第5次 (8/19～ 23)	第6次 (9/30～ 10/4)	第7次 (10/28 ～11/1)	計
一般住宅	5	25	20	12	27	13	9	111
集合住宅	5	8	8	12	0	0	0	33
計	10	33	28	24	27	13	9	144

※第1次～第4次は実施世帯数、第5次以降は予定世帯数。

4 高齢者優先枠の設定について

(1) 実施の理由

- 工事の優先順位については、現状でも高齢者を優先しているが、基本的には騒音の影響が大きい地域から施工している。
- 工事に関する相談では、「高齢者で早期の工事を希望する方を優先順位に関係なく、先に工事してほしい」との意見が多く寄せられた。
- このため、特に高齢の方を優先する「新たな枠」を年間10世帯分設定し、その枠の中で年齢の順に施工することとしたい。

(2) 資料

別添のとおり

(案)

新千歳空港の24時間運用に伴う 住宅防音工事（高齢者優先枠）の募集

新千歳空港周辺環境整備財団では、新千歳空港の深夜・早朝時間帯における航空機の発着枠の拡大に伴い、防音対策の対象となる住宅に対し、航空機騒音を軽減するために防音工事の助成事業を行っています。

現在、意向調査票を提出されている方から順次、助成事業を進めていますが、この度、特に高齢の方の工事を優先するため、「高齢者優先枠」を苫小牧及び千歳で合わせて年間10世帯分を設定し、最高齢の方から年齢の順に工事候補住宅といたします。

つきましては、85歳以上の高齢者が1名以上居住している世帯で早期の住宅防音工事を希望する方は、以下の方法により令和元年(2019年)10月15日(火)までに住宅防音工事(高齢者優先枠)希望届出書を提出してください。(年齢は、令和元年(2019年)10月1日現在の年齢です。)

1 募集期間

令和元年(2019年)10月1日(火)～10月15日(火)

2 提出方法

別添、住宅防音工事（高齢者優先枠）希望届出書を新千歳空港周辺環境整備財団まで提出してください。（郵送可、FAX不可）

○提出先・お問い合わせ先（平日（月曜～金曜）の8:45～17:15まで）

〒066-0009 千歳市柏台南1丁目3番地の1 千歳アルカディア・プラザ2階
公益財団法人 新千歳空港周辺環境整備財団
電話：0123-42-2400

3 対象となる防音工事

防音建具機能復旧工事、新規住宅防音工事、住宅防音対策の補完工事、千歳市空港周辺生活環境等対策基金事業

※ 対象となる工事は、住宅によって異なります。

4 今後の予定

- 10月1日～10月15日 高齢者優先枠の募集
- 10月中旬 対象住宅の決定及び申込者へ結果を通知
- 10月下旬 現地調査希望日、設計事務所名及び施工業者名の調査
- 11月初旬 現地調査実施日の決定及び通知
- 11月下旬 現地調査の実施
- 12月～3月 設計作業
- 4月以降 助成金交付決定後工事着手

5 その他

- 高齢者優先枠による防音工事は年齢順としますが、枠数に限りがありますので、希望者多数の場合は、希望どおり工事ができない場合があります。
- 令和元年(2019年)10月1日時点で、高齢者の住民票の住所が対象住宅と同じであることが必要です。（同居される予定の場合は募集対象となりません。）
- 提出は、持参又は郵送です。ファックスで申し込むことはできません。
- 今回の高齢者枠の募集は試行として取り組むものであり、今回の実施状況を踏まえ、次年度以降の実施について検討することとしています。

(案)

第 11 条関係

住宅防音工事（高齢者優先枠）希望届出書

令和 年 月 日

公益財団法人 新千歳空港周辺環境整備財団 理事長 様

申 込 者	住 所	〒
	フリガナ 氏 名	Ⓜ
	電話番号	() -

「新千歳空港の 24 時間運用に伴う住宅防音工事」について、高齢者優先枠による工事を行うことを希望します。

記

対象住宅等の所在地	市	丁目	番（番地）	号
	宅			
住宅の所有区分	自宅 ・ 借家 ・ その他（ ）			
最高齢居住者	氏 名		生年月日	年 月 日

(注意事項)

- 1 募集期間は、令和元年(2019年)10月1日(火)から10月15日(火)までです。
郵送する場合は、必ず10月14日(月)までにポストに投函してください。
- 2 令和元年(2019年)10月1日現在で85歳以上の方が複数名居住している場合は、最も年齢の高い方の氏名及び生年月日をお書きください。
- 3 高齢者枠は、年齢の高い方が居住される住宅から順番に選定していきます。申し込み順ではありません。
- 4 ファックスでの申し込みは受け付けていませんので、ご注意ください。

地域振興対策の進捗状況等について

(千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金)

1 事業の概要等

区 分	内 容
基金の 総 額	26億円(毎年2.6億円を財団に積立→10年間で造成) ※ 道と千歳市から基金造成補助金として財団に支出
基金 による 事 業	千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金の設置及び助成金交付要綱・要領 ① 防音機能維持・拡充等対策事業 ～ 生活環境の安定・向上に資する工事 原則、住宅防音工事(本体工事・補完工事)とセットで実施 ② 防音機能確保対策事業 ～ C工法の区域のうち、合意書で示した区域において、B工法に嵩上げする工事 ③ 生活環境整備等事業 ～ 地域における調和ある発展のための施設整備等

2 事業の執行状況等

項 目	～H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (見込)	合 計
歳 入 A	520,000,000	260,000,000	260,000,000	1,040,000,000
執 行 額 B	266,346,861	134,433,167	131,000,000	531,780,028
繰 越 額 A-B	253,653,139	125,566,833	129,000,000	508,219,972

3 事業の進捗状況等

事業名	進捗状況	予算(執行)額		
		～H29(実績)	H30(実績)	R1(予定)
防音機能維持・拡充等対策事業 防音機能確保対策事業	～H29(実績) 202件 H30(実績) 76件 R1(見込) 95件	202,288,836	74,361,568	95,000,000
生活環境整備等事業				
根志越Iカ-ジ`対策協議会(根志越) ～ 根志越温泉施設改修事業	H29年度整備完了 (H29.11月 完成)	60,000,000		
根志越Iカ-ジ`対策協議会(中央部) ～ 中央釜加線道路整備事業	国で遊水地の整備 後、実施予定			
駒里連合会 ～ 駒里町内会館改修等事業	H30年度整備完了 (H30.8月 完成)		60,000,000	
祝梅町内会 ～ 祝梅第一道路整備事業	H28年度整備完了 (H28.12月 完成)	4,058,025	71,599	36,000,000
合 計		266,346,861	134,433,167	131,000,000

新千歳空港周辺地域振興基金について

■ 基金概要

造成目標額	平成29年度末 造成済額	平成30年度 新規造成額	平成30年度末 造成済額
30億円	19億1,110万円	4,395万円	19億5,505万円

- ・道内で事業を展開する企業を中心に約70社に協力を要請。
- ・平成28～30年度で16社から総額1億1,540万円の寄附表明。
- ・そのうち平成30年度は6社から4,395万円の寄付金の納入。

【主な寄附企業】

(株)ニトリ	(株)JTB北海道
伊藤組土建(株)	(株)近畿日本ツーリスト北海道
(株)ツルハホールディングス	(株)日本旅行北海道
(株)アインホールディングス	(株)リクルート北海道じゃらん
サツドラホールディングス(株)	YKK AP(株)
(株)ラルズ	北海道中央バス(株)
(株)ローソン	(株)AIRDO
(株)エクセルシャノン	

■ 基金造成に向けた取組

- ・昨年に引き続き、道内で事業を展開する企業を中心に協力を要請中。
- ・中でも直接的なメリットを受けている深夜便を運航しているエアラインに対して、協力を改めて要請。
- ・基金の確保に向け、経済界等と協議を続ける。

平成30年度航空機騒音測定結果について

資料 4 - 1

■ 平成30年度民航機Lden値

「新千歳空港の24時間運用に関する合意書」の確認事項に基づき、平成30年度の民航機Lden値の状況は次のとおりです。

(Lden値単位：dB)

区域	設置	測定局	24時間運用 対策区域	24時間 予測W	(参考) Lden換算値	平成30年度		平成29年度	
						年間Lden値	民航Lden値	年間Lden値	民航Lden値
千歳市	北海道	東郊	区域外	59		59	42	59	45
		梅ヶ丘	75～85W	75	62～70dB	59	58	59	58
		富丘	区域外	51		53	43	53	43
		稲穂	区域外	—		59	44	60	45
		根志越東	70～75W	70	57～62dB	56	55	56	56
		旭ヶ丘	75～85W	78	62～70dB	60	59	60	60
		駒里	補完 (<70W)	58	57dB未満	52	51	51	50
		あけぼの	準対 (<70W)	69	57dB未満	59	51	57	49
	千歳市	弥生公園	75～85W	74	62～70dB	59	57	59	58
		青葉丘	区域外	66		65	48	65	47
		住吉	区域外	60		64	50	64	48
		東雲	区域外	56		61	41	62	45
		寿	75～85W	76	62～70dB	61	61	61	61
		北斗	区域外	51		51	32	53	38
		里美	区域外	45		40	18	43	32
		駒里東	補完 (<70W)	—	57dB未満	47	45	48	47
苫小牧市	北海道	根志越南	補完 (<70W)	—	57dB未満	58	49	58	49
		植苗	75～85W	74	62～70dB	58	58	58	58
		ウトナイ	補完 (<70W)	69	57dB未満	52	51	53	52
		美沢	補完 (<70W)	64	57dB未満	48	48	48	48
		湖畔	70～75W	73	57～62dB	57	57	57	58
		斉藤宅	補完 (<70W)	66	57dB未満	47	47	47	47
		植苗公園	70～75W	—	57～62dB	54	54	54	54
		勇払	区域外	64		50	50	50	50
	苫小牧市	沼ノ端東雲	準対 (<70W)	—	57dB未満	53	52	53	53
		勇払東	区域外	—		50	51	50	51
		琥珀荘	70～75W	70	57～62dB	53	53	53	53
		丹治沼	75～85W	78	62～70dB	58	59	58	58
		沼ノ端東	補完 (<70W)	68	57dB未満	54	54	54	54
		沼ノ端	補完 (<70W)	67	57dB未満	52	49	52	50
		植苗会館	70～75W	69	57～62dB	51	51	52	51

【参考】 Lden57dB=WECPNL値70、Lden62dB=WECPNL値75

○ 民航機Lden値の算出方法について

- ・新千歳空港周辺における航空機騒音の監視は、環境基準の評価を目的として、新千歳空港及び隣接する千歳飛行場を使用する航空機の騒音を測定することにより行っていることから、民航機の騒音だけを識別したり分離して把握することは困難である。
- ・そのため新千歳空港を離着陸する航空機の騒音を把握する方法として、千歳飛行場に係る自衛隊機（ジェット戦闘機）の離着陸のなかった日を民航機の航空機騒音を測定した日とみなし算出対象とし、対象日毎のLdenの全ての値をパワー平均し、これを民航機の年間Ldenとしている。
- ・平成30年度の集計対象日数は132日（約3分の1）である。（平成29年度：136日）

○ パワー平均値について

- ・環境基準に係る航空機騒音の評価も、測定された1機毎の単発騒音暴露レベルから1日毎のLden値を算出し、1年間のその全ての値をパワー平均して行うこととしている。

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N 10^{L_{deni}/10} \right)$$

〈計算式〉
Lden : パワー平均値
Ldeni : 各データ値
N : 測定日数

遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について

1 航空会社別便数

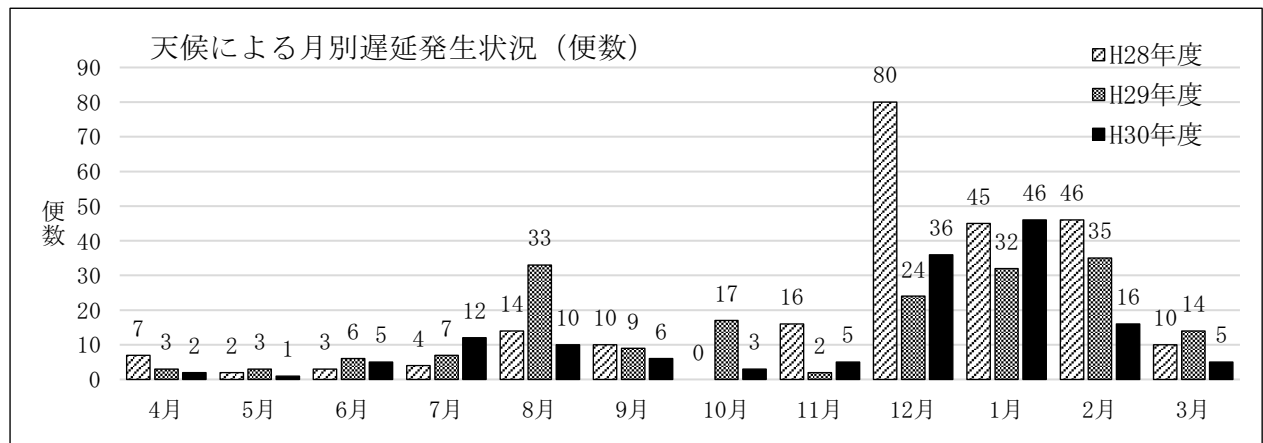
	JAL	ANA	ADO	SKY	その他 (国内)	その他 (国際)	計
H28	146 (35%)	94 (22%)	100 (24%)	36 (9%)	32 (8%)	15 (4%)	423
H29	75 (18%)	187 (44%)	92 (22%)	22 (5%)	12 (3%)	35 (8%)	423
H30	80 (23%)	113 (32%)	126 (36%)	13 (4%)	8 (2%)	9 (3%)	349

※ () 内は構成比 (以下同様)

2 遅延理由別便数

	緊急事態	機材故障	天候	航空管制等	その他	計
H28	2 (1%)	43 (10%)	237 (56%)	24 (6%)	117 (28%)	423
H29	2 (1%)	42 (10%)	185 (44%)	25 (6%)	169 (40%)	423
H30	2 (1%)	39 (11%)	147 (42%)	17 (5%)	144 (41%)	349

※その他：機材不具合等の機材繰り、運航乗務員の接続遅れ、搭乗ハンドリング等出発準備作業遅れ、他便等乗客救済、空港施設混雑、搭乗取りやめ、誘導路混雑



3 時間帯別便数

	22:00～ 22:19	22:20～ 22:39	22:40～ 22:59	23:00～ 23:19	23:20～ 23:39	23:40～ 23:59	0:00～ 5:59	6:00～ 7:00	計
H28	176 (42%)	97 (23%)	61 (14%)	40 (9%)	20 (5%)	8 (2%)	21 (5%)	0	423
H29	204 (48%)	110 (26%)	43 (10%)	26 (6%)	13 (3%)	10 (2%)	14 (3%)	3 (1%)	423
H30	166 (48%)	79 (23%)	50 (14%)	24 (7%)	10 (3%)	8 (2%)	12 (3%)	0	349

新千歳空港における最近の動向について

1 深夜・早朝時間帯における国内・国際定期便

(R元年夏ダイヤ：平成31年3月31日(日)～令和元年10月26日(土))

航空会社	路線・運航時刻	運航日等	備考
JAL	羽田 20:30 → 新千歳 22:00	毎日	7～8月は5分遅着
	羽田 21:00 → 新千歳 22:30	期間中、86便運航	7～8月は5分遅着
	新千歳 21:45 → 羽田 23:30	期間中、86便運航	
ANA	新千歳 21:50 → 羽田 23:30	毎日	
	羽田 20:40 → 新千歳 22:15	毎日	5/19は15分遅発着 8/9～8/18は10分遅発着
	関西 20:20 → 新千歳 22:10	毎日	7/1～31, 8/1～31は5分遅着
SKY	羽田 20:30 → 新千歳 22:05	毎日	
	羽田 21:00 → 新千歳 22:35	4/26～5/6、7/1～10/25	
	羽田 21:30 → 新千歳 23:05	4/26～5/6、7/1～10/25	
	新千歳 00:10 → 羽田 02:00	4/27～5/7、7/2～10/26	
	新千歳 01:10 → 羽田 02:50	4/27～5/7、7/2～10/26	
ADO	仙台 20:45 → 新千歳 22:00	毎日	
	羽田 21:00 → 新千歳 22:35	毎日	
	羽田 21:30 → 新千歳 23:05	期間中、112便運航	
APJ	新千歳 22:00 → 仁川 01:10	毎日	新規就航
	仁川 02:40 → 新千歳 05:30	毎日	新規就航

(JAL:日本航空、ANA:全日本空輸、SKY:スカイマーク、ADO:AIRDO、APJ:ピーチ)

2 深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便 (令和元年8月末現在)

国・方面		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
インドネシア	ジャカルタ	1	1			
	デンパサール	1				
韓国	仁川(インチョン)	2				
	清州(チョンジュ)		7			
	務安(ムアン)		11	27	27	7
	済州(チジュ)			8	6	
香港	香港		1			
グアム	グアム	2				
フィリピン	マニラ				1	
合計		6	20	35	34	7

令和元年 8 月 9 日
航空局航空ネットワーク企画課

北海道内 7 空港特定運営事業等の優先交渉権者選定に係る 客観的評価結果等の公表について

国土交通省は、旭川市、帯広市、北海道とともに、7 月 3 日に実施した北海道内 7 空港※の一括運営委託に係る優先交渉権者の選定について、客観的評価結果及び優先交渉権者の提案概要を公表します。

※国管理空港（新千歳、稚内、釧路、函館）、特定地方管理空港（旭川、帯広）、地方管理空港（女満別）

<公表資料>

資料 1 北海道内国管理 4 空港特定運営事業等 優先交渉権者選定結果（国土交通省航空局）

資料 2 提案概要（北海道エアポートグループ）

（資料 1・2 掲載 URL）

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku05_hh_000138.html

※旭川空港・帯広空港・女満別空港の優先交渉権者選定結果は、各管理者のホームページよりダウンロード可能です。
※令和元年 7 月 3 日付け報道発表「北海道内 7 空港特定運営事業等の優先交渉権者の選定について」で公表した各コンソーシアムの第二次審査に係る得点については、以下の通り訂正します。

コンソーシアム名	Sky Seven	北海道エアポートグループ
得点	239.5 点	279.4 点

<今後のスケジュール（予定）>

令和元年 10 月頃 運営権設定・実施契約の締結

令和 2 年 1 月 15 日 7 空港一体のビル経営開始

令和 2 年 6 月 1 日 新千歳空港運営事業開始

令和 2 年 10 月 1 日 旭川空港運営事業開始

令和 3 年 3 月 1 日 稚内空港・釧路空港・函館空港・帯広空港・女満別空港運営事業開始

【問い合わせ先】

航空局航空ネットワーク企画課 空港経営改革推進室 西川、竹内(稔)、竹内(俊)

連絡先：03-5253-8111（内線 49-190、49-124、49-120）

03-5253-8714（直通） 03-5253-1658（FAX）

千歳飛行場東側滑走路の夜間使用について（お知らせ）

新千歳空港の滑走路工事などに伴い、工事期間中における深夜早朝の時間帯（23：00～翌06：30）は、A・B滑走路が同時に閉鎖されるため、航空自衛隊千歳飛行場東側滑走路を使用することとなりますのでお知らせします。

【実施時期】

- （1）期 間 令和元年6月中旬頃から11月末頃まで（約6か月間）
- （2）使用時刻 23：00から翌06：30まで

【工事概要】

- （1）A滑走路老朽化対策事業（空港機能の保全を図る基本施設の舗装改良）
- （2）滑走路端安全区域整備事業（航空機運航の安全を図る滑走路端安全区域の整備）

【航空便運航計画】（令和元年7月時点での計画）

（1）航空会社

- ①（株）AIRDO
- ②スカイマーク（株）
- ③peach（株）

（2）使用機材

- ①B737-700
- ②B737-800
- ③A320-200

（3）運航時刻

- ①羽田発 21：30 → 新千歳着 23：05
- ②新千歳発 00：10 → 羽田着 02：00
- 新千歳発 01：10 → 羽田着 02：50
- 羽田発 21：30 → 新千歳着 23：05
- ③仁川発 02：40 → 新千歳着 05：30

※上記5便のほか、遅延便や緊急着陸等が発生した場合にも使用されることがあります。

【問合せ先】

国土交通省 新千歳空港事務所 TEL 0123-23-4101

新千歳空港における深夜・早朝便利用促進事業

空港路線バスの実証運行

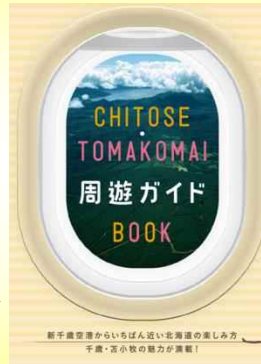
○深夜便利用者の利便性向上を図るため、新千歳空港と千歳市街地を結ぶ空港路線バスを運行

- 【事業者：北海道中央バス(株)札幌事業部】【事業費：400,000円】
- 【運行期間：平成30年8月1日～平成30年10月27日(88日間)】
- 【運行時刻：22時45分、23時20分の2便】※札幌方面JR最終便 22時53分
- 【運行区間：新千歳空港(国内線・国際線)→JR千歳駅を含む市内中心市街地8か所に停車】
- 【一律運賃：220円(こども110円)】
- 【PR状況：航空会社や宿泊施設、観光施設にPRチラシを配布、HPへの掲載、市広報誌への掲載】
- 【利用者数：454人(1日平均 5.3人)】
- 【今後の展開：平成31年4月1日から「空港市内線」22時45分発を増便、継続的な運行を図るための関係機関と連携した情報発信を強化】

観光パンフレットの作成

○深夜便利用者や市内宿泊者等に空港周辺地域(千歳・苫小牧)の魅力を発信し、消費活動を促進するため、観光モデルコースの提案や市内飲食店情報を掲載した観光パンフレットを作成

- 【事業者：(株)インサイト】【事業費：2,376,000円】
- 【作成期間：平成30年6月5日～平成30年12月25日】
- 【作成部数：日本語 7,000部、英語 3,000部】
- 【仕様：A5版、16頁中綴じ】
- 【掲載情報】
- ・支笏湖や樽前山などの観光資源、市内飲食店情報、2泊3日の観光モデルコース、イベントカレンダーなど



二次交通アンケート調査

○深夜便利用者の二次交通における移動手段やニーズを把握するためのアンケート調査を実施

- 【事業者：(株)インサイト】【事業費：648,000円】
- 【調査結果】
- (深夜便利用者)
- ・調査期間：12月8～25日のうち、休日4日、平日4日 ・回答者：328人
- ・居住エリア：札幌市(63%)、千歳市(4%)、道外(17%)
- ・空港の利用目的：札幌在住者はビジネス利用が多く、札幌を除く道内在住者及び道外在住者は観光利用が多い。
- ・目的地：札幌市(72%)、千歳市(6%)、苫小牧市(2%)
- ・目的地までの移動手段：JR(41%)、自家用車(36%)、バス(15%)
- ・JRやバス等が充実していれば深夜便を利用するか：利用する(72%)、利用しない(27%)
- ・交通手段入手方法：WEB(36%)、旅行会社(7%)、口コミ(6%)
- ・総括：二次交通の充実が深夜便利用につながる。深夜バス運行に対するニーズは高く、WEBによる効果的なプロモーションを行うことで深夜バスの利用がますます高まる。
- (空港路線バス利用者)
- ・調査期間：10月24～27日(4日間) ・回答者：28人
- ・利用目的：帰宅(32%)、観光(32%)、帰省(21%)、その他(15%)
- ・利用理由：運行時間が便利、他交通機関がないなど
- ・総括：空港従業員の利便性が高まる。運行の継続要望はある。

観光素材の整理

○空港周辺地域(千歳・苫小牧)の観光素材を整理し、トピックや施設情報を観光パンフレットに反映

- 【事業者：(株)HANATOUR JAPAN 北海道営業所】【事業費：270,000円】
- 【委託期間：平成30年6月1日～平成31年2月22日】